

第14回東京都障害者スポーツ大会 バレーボール競技（身体部門）申し合せ事項

1 競技規則

本項に定める以外は、平成25年度（公財）日本障害者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び「（公財）日本バレーボール協会競技規則」により行う。

2 チーム編成

チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内の計15名以内とし、監督、コーチ、マネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていなければならない。

3 競技用具

- (1) 試合球は、検定5号球（モルテンV5M5000）とする。
- (2) ネットの高さは、男子2.43m、女子2.24mとする。

4 競技方法

- (1) 試合は3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝ちとする。
- (2) 1セット25点のラリーポイント制とし、2セット先取したチームを勝ちとする。
なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。
- (3) 第3セットのコートの交代は、いずれかのチームが13点先取した時に行う。
- (4) 各チームには、1セットにつき最大2回のタイムアウト（1回30秒）が認められる。

5 組み合わせ

- (1) トーナメント戦とし、3位決定戦を行う。
但し、申込状況によって変更することがある。
- (2) 組み合わせについては、当日の監督者会議において決定する。
但し、トーナメントの場合は、前年度優勝チーム準優勝チームはシードとする。

競技進行上の注意事項

- 1 試合開始前、セット間及び終了後の手順は、別表プロトコールのとおりとする。
- 2 試合開始は、原則追い込み方式で行う。
- 3 オーダー用紙は、キャプテンがトスをする時に提出することとする。
- 4 公式練習は、選手名簿に記載された者だけとする。
- 5 負傷の原因となるヘアピンや指輪等の装身具を身につけて競技してはならない。
ただし、眼鏡は自らの責任において使用することとする。
- 6 キャプテンは、ゲームシャツと異なった色の幅2 c m、長さ8 c mのマークを
胸部の番号の下に明確に付けること。
- 7 監督、コーチ、マネージャーは、下記のマークを左胸部に付けること。
マークの大きさは、直径6 c m程度とし、各チームが準備することとする。

